

選句

清記用紙(番号)

写

人地夫

10	9	8	7	6	5	4	3	2	1
我先に子ら舶来のハンモック	炎天や猛 ^や 点呼のバスガール	食べると溶けるを競ふ氷菓子	離れ着眺むビーチの南風	黙禱のラシオの無音蟬時雨	泣く ^声 を遠くに捜す夏の宵	ソフトクリーム沖に夕日の貨物船	並び食む氷菓それぞれ四世代	片蔭や老の語らふ旅のこと	遅刻する友を待つ宙の氷菓かな

選句用紙

選者名

代表選者

へちま

99770
あつひ
ジョLF
77747

1	極暑日の献花萎れる晋三己心	夏瘦せの喪主にしなやかなる会釈	醬油塗る刷毛の撓りや鰹料理	八十路過ぐガマの静寂や沖繩己心	黙禱のラジオの無音蟬時雨	土器 ^{がわらひ} を大きく投げて夏被 ^{おしろい}	特	特
2								
3								
4								
特								

岩名釣るときは坐禅をする如く
ふるつふるつ
ふるつふるつ

土器を大きく投げて夏被
おしろい
おしろい

黙禱のラジオの無音蟬時雨
おしろい
おしろい

八十路過ぐガマの静寂や沖繩己心
おしろい
おしろい

醬油塗る刷毛の撓りや鰹料理
おしろい
おしろい

夏瘦せの喪主にしなやかなる会釈
おしろい
おしろい

極暑日の献花萎れる晋三己心
おしろい
おしろい

選句用紙

選者名 上窪泰千

1	最後には買ひ物カゴに足す氷菓 こずかい
2	当り棒 ちやうぼう 潜む ひそ 昭和の氷菓子
3	黙禱のラッオの無音蝉時雨
4	極暑日の献花萎 しだ れる晋三 しんぞう こい
5	噴水のピタリと止まり行基像
6	自転車に幟 のぼり 旗 はた 立 た て氷菓 こずかい 売 う る
特	千ヨコミニトアウス好きとか嫌 きら ひとか

選句用紙

選者名 白井桃紅

1	良くなるといふ便りのみ夏に入る
2	八十路過ぐガマの静寂 しじま や沖繩忌
3	黙 もく 禱 とう のラジオの無音蟬時雨
4	にぎりめし指にはりつく潺 じやく 暑 しよ かな
5	万博の円に炎暑の人いきれ
6	アイスキャンデー最後のかけら落としけり
特	氷菓垂 た る母の憤怒 ふんど 心はまだ続く

選句用紙

選者名

近藤和卓

1	2	3	4	5	6	特
夕立や俤 くるま を擦 こす るいけず石	良くなるといふ便りのみ夏に入る	夏の雷 らい 満員御礼甲子園	真夏日の波音 なみおと に飢え南下せり	氷菓垂る母の憤怒 かんど はまだ続 つ く	嬰 みどりご のぎやうさん泣いて夏の穴 あな 工	縁側の経年劣化セラニウム

選句用紙

選者名 山崎 たか

特	6	5	4	3	2	1
遅刻する友を待つ間の氷菓かな	いし路過ぐガマの静寂や沖繩忌	醬油塗る刷毛の撓りや鱧料理	影動く夜の工場源氏虫	天空といえども夏日高野山	陰日向私欲も慈悲も無く之蟻	片恋をひと晩寝かせ更衣ふ

選句用紙

選者名 山下 疾風

10	9	8	特	6	5	4	3	2	1
			極暑日の献花萎れる晋三忌	黙禱のラジオの無音蝉時雨	片恋をひと晩寝かせ更衣ふ	朝涼の妻の手借りて藍を着る 「の」かや「の」め「の」う 「の」う「の」う「の」う	離れ着眺むビーチの南風	氷菓垂る母の憤怒はまだ続く	干上がったゆく間の水輪あめんぼう

LC

॥ २०॥

6-1

選句用紙

選者名

わこ

1	2	3	4	5	6	特
ヒツ疑ひのなき蟻の列地下通路	朝涼や隣家の雨戸そろり開く	干 ^み 上が ^い ていく間の水輪あめんぼう	一 ^{いち} 押 ^お しは終わりましたとかき氷	「ほらあれ」とフタゴブラクダの百々雪云	目 ^め 女 ^に 旧 ^{きう} 心のぎやうさん泣いて夏 ^{なつ} の穴 ^{あな} エ	かき氷雪の白さを大成皿に

選句用紙

選者名

関 洋子

1	炎天や ^{たけ} 狂 ^き き点呼のバスガール
2	ツナマヨのキューピー微笑む夏 ^{なつ} の朝
3	夏 ^{なつ} 蝶 ^{てふ} や祖父の墓石に巻煙草
4	黙禱のラジオの無音 蟬時雨
5	子燕の消へてひっそりアーケード
6	「アイスクリン食べ ^し とおっちゃん独りもん
特	島の子の口の三角 氷菓かな

選句用紙

選者名

宮本 一平

1	夏の日や光は墓に集りぬ
2	最後には賈い物カゴに足す氷菓
3	紫陽花や数日の子の違ふ顔
4	ビール五杯持つて血管さよめがる
5	島の子ら口々三角氷菓かな
6	シタマヨのキープー微笑む夏の朝
特	タビヤ俵を擲るにけずる

くさるニす

選句用紙

選者名

富野香衣

1	恐竜の骨の集大成を焚く
2	遠く昔を遠く昔の夏の時
3	山魚釣るときは坐禅をする如く
4	打水の古ちまち乾く日の匂ひ
5	にきりめし指にはりつく寝暑かな
6	かき氷屋の白さを大盛りで
特	ソフトクリーム沖に夕日の貨物船

選句用紙

選者名

横田清史

1	井陰やホミミこり無人駅
2	並びぬるホミミを抜けて夏燕 ツバメ
3	不博の田に炎暑の人いきれ
4	いつからか今良の名物かき氷
5	チヨロミントアイス好きとも嫌とか
6	紫陽花や数日の子の違う顔
特	ニサの子並んで食へる雲の峰

選句用紙

選者名

長陽

特	6	5	4	3	2	1
嬰兒^{みどりご}のギヤウさん泣いて夏の空	夏瘦せの喪主にしなやかなる会釈	睡蓮^{すいれん}を縫うて大鯉^{だいり}遠ざかる	陰日向^{かげひなた}私欲も慈悲も無くて蟻	にぎりめし指にはりつく溽暑^{じゅくしよ}かた	ビール五杯持って血管浮きあがる	ソフトクリーム沖に夕日の貨物船

27
7/13
南柯

選句用紙

選者名 福田 洸弥

特	6	5	4	3	2	1
睡蓮を縫うて大鯉遠くかゝる	最後には買物カゴに足す氷菓	勘亭流の樂屋暖簾に扇風機	並び食む氷菓それぞれ四世代	子燕の消へえいつそリアーグード	夏瘦せの喪主にしなやかなる会釈	縁側の経年劣化ゼラニウム

選句用紙

選者名

上 田 秋 霜

1	にぎりめし指にはりつく溽暑かな
2	当り棒潜む昭和の氷菓子
3	アイスキャンデー最後のかけら落とれけり
4	氷菓垂る母の憤怒はまだ続く
5	干上加ってゆく間の水輪あめんぼう
6	勘亭流の楽屋暖簾に扇風機
特	睡蓮を縫うて大鯉遠ざかる

選句用紙

選者名

服部梅句

1	極暑日の献花を委ねる 晋三句
2	山石魚釣るときは坐禅をする如く
3	朝涼や隣家の雨戸 そろり開く
4	夕天がね ^{たひ} えき 点呼のバスガール
5	噴水のピタリと止まり 行基像
6	睡蓮を縫うて大鯉 遠がかる
特	黙禱のラジオの無音 蝉時雨

選句用紙

選者名 真一

1	黙禱のラジオの無音蟬時雨
2	極暑日の猷化萎れる晋三心
3	岩魚釣るときは坐禪をする如く
4	夏渡せの喪主にしなやかなる笑顔
5	かき氷なかに赤福伊勢参り
6	肉食らふ舌に静けきシャーベット
特	当り棒潜む昭和の水菓子

選句用紙

選者名

二 晁

1	ナ ^{のめう} 器 ^イ を大オク投げて夏 ^{なつ} 被 ^{せう}
2	朝涼や隣家の雨戸ぞろり閉く
3	最後には買ひ物カゴに足す氷菓
4	良くなるといふ使りのみ夏に入る
5	氷果崩れアイシシコタイン舌を出す
6	陰日向私欲も慈悲も無くて蟻
特	八十路 ^{やとじ} 過ぐがマの静寂 ^{しじやく} や沖繩忌
8	
9	
10	